



～1杯目～  
**"Vous avez choisi?"**  
**"U hebt gekozen?"**  
 お決まりですか？

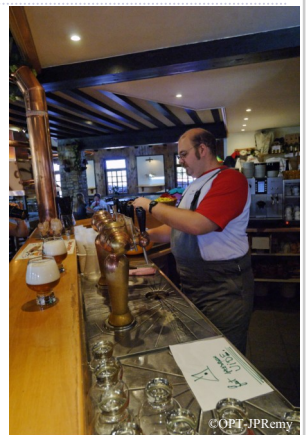
# ベルギービールで ホロ酔い気分♪

今や世界にその名の轟(とどろ)く「**ベルギー**」。「その奥深い世界をほんの少しずつのぞいてみたい」と思います。ビールの蘊蓄(うんちく)、銘柄のエピソード、カフェの紹介...いわば「ベルギービール」の「よみやま話」にしばしお付き合いいただければ幸いです。



まずは、1杯目。とあるカフェに入った場面を想定してみましょう。日本では「じゃ、とりあえずビール」と、気軽に言うところですが、ここはベルギー。ただ「ビール」だけでは、ギャルソンを困らせてしまいます。「何」を飲みたいのかしっかり意思表示が必要です。数あるベルギービールの中で代表的なものを試したいと思っても、トラピストビール、白ビール、グーズビールなどいろいろありますが、まず「のどを湿らせたい」「気分

時には簡単に「une biere pression / ein bier druck」頼んでみませんか。「Jupiler (ジユピラー)」、「Stella (ステラ)」、「Maes (マース)？」と銘柄を聞かれるかもしれませんが、これらがベルギーの市場シェア7割以上を占める「ピルスナータイプ」のビールです。「ピルスナー」とは、日本で愛飲されているのと同様のビールで、スッキリとしたのどごしと味わいが特徴。大抵のカフェではカウンターにこの「pression (プレシオン)」を注ぐ取っ手がありますから、銘柄を手チェックしてみましょう。



ところで近年、ベルギーでのビール消費量は低迷気味です。2008年の統計によると1人当たりの年間消費量は82リットル、世界第17位でした。7、8年前までは年間消費量は1人当たり100リットルを軽く上回り、世界で10本の指に入るビール消費国でしたから、かなり減少しているのがわかります。とはいえこれも、この国の「美味しいビール」へのこだわりと誇りは、消費量には関係なく、脈々と受け継がれている伝統のようです。

その代表的な例が、ビールグラスへのこだわりです。1銘柄に1つのグラスを作るという独特のルールは、そのビールの風味を最大限に引き出すための試みであるとともに、私たちにグラス鑑賞のチャンスも与えてくれます。あるビールの注意書きには、「この形のグラスでは飲まないで」と禁止マークまで描かれているほどです。

ベルギービールを語る上で押さえておきたい重要な約束事は、「トラピストビール」と「アベイビール」の違いです。「トラピスト」と名乗れるのは世界中でたった7つ。シトー派トラピスト会修道院で造られるビールに限り、こう呼ぶことが許されます。もともとベルギーがワイン用のブドウ栽培に適さなかったこと、ペストなどの流行時には水よりも安全な飲み物だったことなどから、いくつもの修道院が、

古くからビール造りをしていたようです。それが実際に院外に販売されるようになったのは第二次世界大戦後。その後、一般の醸造所が類似品の醸造を始めたことから、オルヴァル修道院が「修道院ビール」の法的保護を求め、1962年以降、一般の醸造所が造るビールを「修道院(アベイ)ビール」と称し、トラピスト



ビールと区別されることになったそうです。ベルギーの6つ、「オルヴァル」、「シメイ」、「ロシュフオール」、「ウエストマール」、「ウエストフレテレン」、「アヘル」、オランダ・ティルブルグのキングスホーヴン修道院、スカールプスコイ醸造所で作られる「ラ・トラップ」の合わせて7つのみが「トラピストビール」です。いずれも濃厚な味わいが特徴、じっくり時間をかけてその良さを体感したいものです。カフェでも皆、チビチビやりながらおしゃべりに花を咲かせていますね。

さあ、これで私たちもベルギービールの世界の扉が叩けました。あつ、ギャルソンが来ましたよ。「お決まりですか？」

この記事は2000年にプチボワに連載されたものを加筆修正してお届けしています。

Bière Trappiste / Trappistenbier

ORVAL  
CHIMAY  
ROCHEFORT  
WESTMALLE  
WESTVLETEREN  
ACHEL  
LA TRAPPE

JAL ANA Lufthansa AIRFRANCE Scandinavian Airlines Austrian KLM brussels airlines FINNAIR

## 秋・冬の里帰りを緊急受付中!

特に年末年始に日本へ里帰りをご予定の方は、ご予約をお急ぎ下さい。お席に限りがございます。

**10月からの JAL、ANA の日本発(呼寄せ)料金も決定しました。こちらご予約承り中!**

営業時間 月～金曜日(9:00～18:00)  
土曜日(11:00～15:00)  
休業日 日曜日・祝日  
Fax (02) 502 81 99  
E-mail info@fujitravel.be  
緊急帰国 0476 436 330

**Fuji Travel**  
 ☎ (02) 502 13 13

お知らせ 10月31日より JAL バリ～羽田線就航  
地方都市からの乗継が大変便利になります

146 Chaussee d'Ixelles, 1050 Brussels